

資料編・3

グループインタビュー・アンケートによる子育て支援への意見

3 グループインタビュー・アンケートによる子育て支援への意見

【目的】

未婚者，現在子育て中の人，子育て経験者などから，子育てをめぐる現状及び今後の支援のあり方への意見の把握を通して，浜松市に求められる次世代育成支援のための計画策定に役立てるために16団体の方がたから意見をいただきました。

1 グループインタビューによる意見

1. 現在子育て中の人

(子育て広場・幼稚園の保護者・・・30人)

(1) 子育てで困ったこと・負担に感じること

- ・自分が病気の時に，見てもらう人がいない。
- ・転勤族のために近くに親や頼れる人がいない。
- ・休日の医療機関への受診時の待ち時間が長い。
- ・駐車場がない公園が多く，行きにくい。

(2) これからの子育て支援のあり方

- ・なかよし館に駐車場がほしい。
- ・もっとなかよし館を作ってほしい。
- ・周囲のサポート体制の整備を
- ・地域に子育て中の親子が集る場がほしい。

2. 子育て中の親とのかかわりがある人

(幼稚園教諭・子育てサポーター・主任児童委員・保健師等・・・104人)

(1) 最近の親子で気になること(子どもについて・親について)

- ・普通の育ちをしているのに，パニックになる子が多い。
- ・以前の赤ちゃんより成長は早い，その割にオムツ離れが遅い。
- ・子どもよりも自分が優先という親が多い。
- ・子どもと上手く向き合えない親が多い。
- ・親同士の直接の人間関係作りは下手，メールでのネットワークはずごい。
- ・子どもの育て方や接し方が分からないという親が多い。

(2) これからの子育て支援のあり方

- ・子育て広場を，東部保健福祉センターのように毎日開催してほしい。
- ・親同士のコミュニケーションをとる場を作る。
- ・親の教育
- ・子育て支援の拠点がほしい。

- ・ 異世代間の交流を積極的に

3. 将来親になる世代

(中学生<赤ちゃん体験学習等参加者>・青少年の家利用代表者等・・・54人)

(1) 赤ちゃんや子どもについて

- ・ 赤ちゃん体験学習は必要なことだと思う
- ・ 赤ちゃんはあたたかいとわかった。
- ・ 子どもは可愛いだけでなく、育てることは大変なこと。
- ・ あやして、赤ちゃんが笑ってくれたとき嬉しかった。

(2) 親になる前にやったほうがいいと思うこと

- ・ 子育てについて、知識の学習だけでなく体験型の学習も
- ・ 大人になる前に、子どもと接する機会を持つことは大切。
- ・ 親になる前の学習と親になってからの学習の必要。

(3) 結婚観

- ・ 自由な時間がなくなり、あきらめなくてはならないことができてくる。
- ・ 家庭より自分の時間が大切
- ・ 縛られる感じがある。
- ・ 今の仕事を大切にしたい。

(4) 市への要望

- ・ 昔の遊びの伝承ができる人、できる組織を作ってほしい。
- ・ 通学路の安全の確保
- ・ 安心して遊べる公園の管理

4. 外国人について

(市内に住む外国人・通訳・・・7人)

(1) 現状

- ・ なかよし館が近くにあったが最初は何かわからず利用できなかった。
- ・ 親が働くことが精一杯で、子どもがほったらかしになっている。
- ・ 母国語で子育てに対する相談ができる場が少ない。
- ・ 近所に知り合いが少なく、子育て中に孤立しやすい人もいる。

(2) これからの子育て支援のあり方

- ・ 気軽に母国語で相談できる所がほしい。
- ・ 子どもを連れて遊びに行ける場所の情報がほしい。

- ・母国語のカウンセリングを受けることができる場所

【まとめ】

現在子育て中の人は、身近なところでの子育て支援を求めており、周囲のサポート体制の整備を望んでいる。また、子育て中の親とかかわりがある人は、親の子どもへの接し方が変容し、親の子育て能力の低下を感じている。将来親になる世代の人たちは、赤ちゃんとのふれあい体験などから子育てについて学ぶ機会が必要であることを認識している。外国人は、ことばの違いから情報の提供、相談できる場所を求めている。

このようなことから、子どもが愛され、大切にされている実感を持ち得る環境を作り上げていくことが不可欠である。

2 市職員による意識調査

1. 子育て未経験者 男性156人、女性79人

(1) 子育てに関するイメージ

- ・経済的・精神的に大変そう
- ・未経験者にとって負担が大きい。
- ・楽しそう
- ・自分自身を成長させてくれるもの

(2) 子育てしていく上で大切なもの

- ・社会のサポート
- ・夫婦と周囲の協力
- ・仕事と家庭の両立
- ・愛情

(3) 理想の親

- ・やさしさときびしさを持つ
- ・コミュニケーションがとれる
- ・安心感・頼りがいがある
- ・家庭内教育

(4) 育児休暇・看護休暇制度

- ・とりやすい環境
- ・育児休業中の手当の保障
- ・育児や看護に携わる人でないと理解されにくい
- ・職場や地域での託児所、看護体制の整備

(5) 必要な就労環境の整備

- ・意識の啓発
- ・休暇制度の充実
- ・経済的な支援

(6) 提案

- ・保育園を利用する人のために時間をずらした出勤制度
- ・子育てに関する相談制度の充実・支援
- ・子どもと一緒に遊べたり，夫婦で参加できる教室やセミナーの開催
- ・地域を巻き込んだ子育て支援

2. 子育て中 男性250人，女性37人

(1) 子育てに関するイメージ

- ・大変だけど楽しい
- ・自分も成長する
- ・地域とのつながりが持てる
- ・責任がある

(2) 子育てしていく上で大切なもの

- ・愛情
- ・子どもとのふれあい（スキンシップ）
- ・子どもとの時間
- ・親子のコミュニケーション

(3) 子育てで困っていること

- ・共働きの子どもの病気
- ・しつけや子どもへの叱り方
- ・子どもの友人関係や他の親との人間関係
- ・周囲の心無いことばと家族の無協力

(4) あったら良いと思うサービス

- ・身近に親子が集まれる施設や公園
- ・気軽に相談できるしくみや相談窓口の充実
- ・親同士の情報交換の場
- ・経済的な援助

(5) 理想の親

- ・子どものことを第一に考える
- ・自分自身も人生を楽しんでいる親
- ・何でも話せる親
- ・子どもの成長を見守れる親

(6) 育児休暇・看護休暇制度

- ・休暇をとりやすい環境づくり
- ・職場復帰しやすい環境作り
- ・フレックスタイムの導入
- ・育児休業中の代替職員の保障

(7) 必要な就労環境の整備

- ・意識の啓発
- ・休暇制度の充実
- ・経済的な支援
- ・一時的に就労を短縮できる制度の創設

(8) 提案

- ・社会全体が子育てに関心を持つようなPR
- ・子ども達への子育てや家族について考える機会を持たせる
- ・発達段階に合わせた援助について勉強し、子育て支援策を展開する。
- ・高齢者と子どもの世代間交流を積極的に

3. 子育て経験者 男性102人, 女性20人

(1) 子育てに必要な手助け・助かった手助け

- ・両親の協力
- ・ファミリーサポートセンター
- ・子育て経験者のアドバイス
- ・近隣の人の協力

(2) 子育ての反省点

- ・少子化によりわがままになりがち
- ・子どもと接する時間を多く持てば良かった
- ・地域で守り子どもを育てること
- ・心にゆとりがもてなかった

(3) 子育てしていく上で大切なこと

- ・子どもと一緒にいる時間
- ・子どもの行事に積極的に親が参加する
- ・親の愛情
- ・親子のふれあい

(4) 子育てして良かったと思う点

- ・子どもを通じて多くの人とのつながりができた
- ・子どもから学ぶことが多かった
- ・家庭内が明るい
- ・子どもの成長を感じ取ることができた

(5) 育児休暇・看護休暇制度

- ・働くすべての人が安心して取得できる環境整備
- ・職場の理解
- ・男性でも取得できる環境を
- ・職場復帰が可能な制度の確立

(6) 提案

- ・近くの高齢者を利用した子育て支援サービス
- ・弾力的な保育時間
- ・男女とも子育てが大切と思える意識改革
- ・子育てを支援する人への直接支援とその周辺への間接支援も必要

【まとめ】

子育ては終えてみれば苦労も多かった反面、自分も成長し充実感を得ているが、現在子育て中や、これからの人たちは大変さの次に子育ては楽しいと感じている。子育ては家庭、周囲の関係を良好に保ちながら支えあっていくものにとらえている。子育てする親も生活を楽しむことができることは、子どもがのびのび育つことになり、子育てを地域全体で支えあう環境整備が望まれる。